

第7期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	平成29年度 第6回
開催日	平成29年11月20日(月) 四谷特別出張所会議室 14時00分～15時40分		
出席者	委員	役員5名	出張所職員 3名
議題	1. 各分科会報告・連絡 2. その他		

1. 各分科会報告・連絡

	主な内容
第1分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・11月11日に「地域を識る勉強会」を開催した。塩町一丁目の遺跡の報告を中心に江戸時代の暮らしについて区の学芸員が講演した。 ・地域防災について意見交換を行っている。掲示板に貼る避難場所の掲示内容について、委員の案を基に検討した。
四谷お宝さがし 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員が推薦するお宝については5つのテーマが決定しており、それぞれ担当委員が取材を行う。発表内容、発表方法の詳細について協議を行った。
観光まちづくり 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・11月18日に内藤新宿をめぐるまち歩きを実施し、まち歩き終了後に茶話会を行った。悪天候のためルートを短縮し、出張所会議室でプロジェクターの画像を見せながら解説をした。また、七色とうがらしの調合イベントも実施した。 ・12月2日には神宮外苑をめぐるまち歩きを予定している。信濃町駅集合、いちちょう祭り会場にて解散。 ・「まち歩き手帖5」を1月に発行予定。現在校正作業を進めている。 ・その後「まち歩き手帖6」を今年度中に発行する。
第2分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降体操教室の参加費を300円に改定することが決定し、参加者向けの周知チラシを作製した。裏面はアンケート結果を掲載する。 ・四谷ひろば宛に、参加費改定についてと企業・団体の協賛について説明する内容の書面を作成した。 ・地元企業・団体向けに、体操教室への協賛依頼状を作成した。 ・四谷地域全体の高齢者を安定的に支援していくため、今後も努力を続けていく。
第3分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・11月上旬に花園・四谷・四谷第六小学校で秋の花いっぱい運動を実施した。 ・来年度の花いっぱい運動は、地域の参加者により支えていただける体制づくりができるか相談中である。それぞれの会場の自立が求められているが、今後も各地域の活動を支援する方向で検討していく。 ・11月9日は秋のごみゼロデーとして四ツ谷駅から出張所までの歩道の清掃活動を行い、地元企業や清掃協会など約130名が参加した。
ちいきの窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・四谷カレンダーは引き続き各行事の掲載を行っている。大きな変更はないが、防災、観光の特集ページを作っている。 ・来年度は、四谷カレンダーを運営していくにあたり、各団体推薦委員と共に団体の情報公開をどのように行っていくかを考えていきたい。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・「声」17号が完成した。教えて地区協については地域センターの方々に協力し

ていただいた。
・次号（18号）は最終号となるので、地区協議会の置かれている位置も課題として出し、またこれまでを振り返った形でまとめていきたい。

2. その他

来年度以降の活動について、意見交換を行った。

- ・地区協議会は今後とも区と対等の立場で、より自立して地域の課題を解決していく。
- ・会議の運営、事務手続き等の庶務機能については、各分科会、実行委員会は来年度以降自立して行う。役員会の庶務機能については再来年度の自立を目指す。
- ・役員会の開催は原則として、助成金申請前（3回）、実績報告（1回）の年4回程度とする。
- ・出張所の会議室は、空きがあれば出張所が開いている時間内に使用できる。
- ・夜間・休日は地域センターの集会室等を利用する。減免のための手続きは出張所が行う。
- ・これまで通り、電話での問い合わせ先は出張所とし、イベントの参加受付なども出張所が行う。
- ・出張所に既存のデータがあるチラシ・ポスターの作成は、日時などの情報提供があれば出張所が印刷に協力する。
- ・次第、議事録は委員が作成する。次第のみ作成して会議内容はメモを取るなど、事務の軽減について各分科会で話し合っていく。
- ・ごみゼロについては官公庁との連絡もあり、企業の参加も多いことから今後も引き続き庶務は出張所が行う。
- ・広報部会は休止とする。
- ・広報誌がなくなるので、四谷カレンダーをさらに充実させていってはどうか。
- ・第2分科会の体操事業で自己資金が確保できた場合、他の事業の原資となりうるのではないか。
（→第2分科会内で検討する）
- ・委員の募集や全体会の運営、会計報告、事業報告などについては、事業ごとではなく地区協議会として集約する必要がある。
- ・全体会については、報告会という形になる可能性がある。運営方法については来年度に検討する。
- ・会則、委員の募集等、第8期に向けて来年度も継続して検討していく。
- ・分科会では地域課題を見つけて解決方法を討議し、実行委員会では実際に課題を解決する。このため、事業を行う実行委員会のみを残すのではなく、分科会で委員を募集する、という形を残すべきではないか。
- ・来年度以降、現広報委員は他の分科会に所属するか、役員会の手伝いができる部分があるかどうか話し合っていく。

次回日程

12月19日（火）14：00～ 四谷特別出張所 会議室

